

教育センター学びの丘長期研修員研修における学びについて

和歌山市立明和中学校

教諭 赤 松 薫

別途「教育センター学びの丘長期研修員の概要について」に示した、研修の概要を基に、1年間の学びについて述べる。

修養では、研修講座や研修員研修等の様々な研修を受講することで、ミドルリーダーとしての自覚が芽生え、学校組織の一員として、自分にできることは何かを考える機会となった。また、自身の校種や専門教科以外の分野について学ぶ中で、「チームとしての学校」という意識が高まった。特に、特別支援教育やカリキュラム・マネジメントについて学ぶことで、学校全体で授業改善を進めていくための新たな視点を身に付けることができた。

研究では、これまでの自身の授業実践を振り返り、取り組むべき課題を見出すことができた。主体的に知識・技能を習得し、活用する力を育むために、課題解決に必要な視点を身に付けること、生徒が授業に見通しをもち、学び方を考えることが必要であると考え、提案授業を行った。また、今回の研究で、これまで自身が実践してきた学び合いの有用性を改めて実感した。自律的な学習者を育てるには、学習形態だけでなく効果的な学び方を身に付けさせる必要があることにも気付くことができた。

今後も、ミドルリーダーとしての自覚をもち、授業づくりだけでなく、学校が抱える様々な課題についても主体的に考え、学校や地域に貢献できるよう努めていきたい。